

団持続走競技会



MACB
QRコード

編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

団は平成三十年一月三十一日、長池演習場（京都府城陽市）で団持続走競技会を行い、隷下の普通科連隊が全長約四キロのコースで健脚を競い合った。

強い寒波の影響により、競技会直前まで、競技コースの一部が凍結する厳しいコンディションの中、選手たちは本競技会に向けて日々重ねてきた練成成果を遺憾なく発揮し、両連隊ともに「一秒を削る」一歩も譲らぬ力走を見せた。

五〇七名一〇分隊で行われた連隊対抗の部では、第四十七普通科連隊が優勝、成績優秀は第四十九普通科連隊第一分隊が第一位を勝ち取った。

また個人走の部では両連隊長も自ら力走を見せ、隊員を鼓舞した。



【成績】
連隊対抗の部）
部隊表彰
第四十七普通科連隊

成績優秀分隊

第一位

第四十九普通科連隊 第一分隊

第二位

第四十七普通科連隊 第七分隊

第三位

第四十七普通科連隊 第十六分隊

個人走の部（敢闘賞）

三〇代の部

第四十九普通科連隊 堤 三尉

四〇代の部

第四十九普通科連隊 草津三佐

五〇代の部

第四十七普通科連隊 糸賀二尉



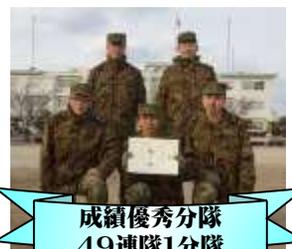
堤3尉



草津3佐



糸賀2尉



成績優秀分隊
49連隊1分隊



部隊表彰 第47普通科連隊



混成団武装走競技会

絶対にあきらめない意地と執念で 栄冠に輝く!

連隊は、平成三十年一月三十一日、長池演習場において中部方面混成団武装走競技会に参加し断郊走の部で見事に「優勝」した。連隊は、本競技会に各中隊ごと十八個分隊がエントリーし、高低差の大きいコースに挑んだ。競技会の期間は、天候に恵まれ、競技会日和となった。競技では分隊長を核心に原村演習場での試走結果や当日の体調などをふまえての銃や装具の受け渡し、声かけなど分隊長が助け合い分隊ごとに示された目標タイムを刻み力走した。ゴール後に倒れ込む隊員が何人もいたことは、「一秒でもタイムを短縮し優勝したい。」という強い思いの表れであった。まさに絶対にあきらめない意地と執念で力走した結果、栄冠に輝き、優勝を手中に収めた。



平成30年連隊訓練始め

我ら49連隊



混成団持続走競技会優勝ターナー!!!

連隊一丸となって「持続走訓練」を実施



連隊は、一月九日を平成三十年の訓練始めとし、全隊員での「持続走訓練」を行った。訓練は、連隊本部を先頭に中隊毎にレンジャー呼唱を掛けながら駐屯地内を走破、連隊・中隊の更なる団結強化と新年を迎えるの隊員の一層の士気高揚を図った。前野連隊長は「新年を迎えるにあたり各隊員は個々の役職・立場を再度認識し、自分が何をすべきかをよく考え、各隊員がそれぞれの目標に向かって努力するとともに、連隊・中隊として効果的且つ効率的に目標達成を図っていかう。先ずは一月末に控える混成団持続走競技会で優勝することを連隊の目標とし、連隊一丸となって頑張ろう。」と力強く隊員を鼓舞し、四十九連隊は平成三十年のスタートを切った。



第2中隊



第1中隊



本部管理中隊



連隊本部



重迫騎砲中隊



第5中隊



第4中隊



第3中隊

平成二十九年年度最後の課程教育開始

第四陸曹教育隊



隊は、一月九日から共通教育中隊及び普通科教育中隊に陸曹候補生二百九十六名、同月十五日から上級陸曹教育中隊に百六十七名の各学生を迎え教育を開始、昨年より引き続き教育を実施中である。最先任上級曹長課程、陸曹基礎英語課程を含め四百九十七名で平成二十九年年度4四半期の教育を開始した。このうち課程教育化の第一期生となる、最先任上級曹長課程十六名が二月八日に教育を無事終了し、自信を持って原隊に帰隊した。



第190期上曹 体力検定課目



第132期候補生 5Km走



第1期CSM課程 隊務想定



第65期英語 米軍CSM来隊

服務指導検討会実施

隊員・支援隊員による服務指導検討会を実施した。年代別に各グループに分かれ、学生に対する指導の方法について、各中隊の指導方針や助言の仕方など各グループの議論を交わした。



第132期候補生 共・普中入校式

川原一尉定年退官

大隊は平成三十年二月十三日、川原一尉の除隊式を挙行した。

川原一尉は平成二十三年三月、大隊本部管理係長及び総務係長を歴任され、大隊の隊務運営に大きく貢献された。この度晴れて、二月十四日付をもって三等陸佐に特別昇任され、無事定年退官を迎えられた。

除隊式では、今までの功績に敬意を表し、基幹隊員によるお礼の言葉や記念品の贈呈等が行われた。

今後の川原三佐のご活躍とご家族共々のご多幸を大隊一同祈念したい。



大隊長（西川2佐）より紹介を受ける川原1尉

ワンポイント指導法実施

トンネル走行には要注意を！

大隊本部舎前において課業開始前を活用し、ワンポイント指導法を実施した。

この指導法については、今年度六回目となり、教官・助教の指導能力の向上を図ることを目的に毎月一回を基準として各中隊等持ち回りで実施している。

今回は大津自動車教習所の由井二曹が教育を実施し、運転の際、危険を及ぼす視覚的現象について説明をした。中でも長距離運転をした時のトンネル走行には危険がたくさんあることを強調し、目が疲れたら適度に休養をするよう基幹隊員に伝えた。



熱心に教育を実施する由井2曹

第一〇九教育大隊



第一〇教育大隊



第110教育大隊
部隊移動完了

大隊は、普通寺駐屯地から松山駐屯地へ部隊移動を行った。昭和三十三年八月、普通寺駐屯地で編制以来、初めての部隊移動であり、二月八日、五十八年間で約三万二千二百人の新入隊員を育成した普通寺駐屯地を後にした。

九日には松山駐屯地において、所在隊員や各協力団体の盛大な出迎えを受け、その後実施された移動行事において、駐屯地司令（一等陸佐内野敏記）から「北朝鮮のミサイル発射や中国の軍事力強化など日本を巡る安全保障情勢の中、教育大隊には愛媛県民の大きな期待がかかっている。愛媛県、駐屯地に清冽しい風を吹き込むとともに愛媛県に惚れ、地域を好きになってほしい。」と激励の言葉を受けた。次に混成団長から「松山での新たな歴史の始まりです。四月には新隊員も着隊してきます。心機一転、真新しい隊舎に相応しい新たな思いで、基本教育任務の完遂、部隊にとって真に役立つ隊員の育成に努めてもらいたい。」とのメッセージが送られ、大隊長は「社会に役立つ人材を育成し、地域に貢献する。」と答えた。

大隊は歴史と伝統そして文化を誇る、愛媛・松山の地において、早速四月から約三百六十名の新隊員教育を開始し、新たな歴史を築いていく



松山駐屯地出迎え（2月9日）



普通寺駐屯地見送り（2月8日）

最先任上級曹長



今年は何年になく、寒さ厳しい日が続いています。そんな厳しい寒さの中でも陸曹教育隊の各課程教育の入学学生は、早朝五時から毎日走り込みをして体力の向上に努めるとともに、野外を中心とした訓練に励んでいます。今その寒さに耐え、努力した成果を発揮するのが総合訓練です。総合訓練では各人が厳しい任務を達成するため、また部隊・仲間のために一所懸命に努力します。時には厳しい状況判断に迫られたり、気力・体力が限界に達し挫折しそうになったりする場合もありますが、同期で支え励まし最後まで歯を食いしばって任務を達成した時の顔は清々しく、達成感に満ち溢れています。教育を担任する基幹要員も妥協を許さず厳しく指導をしているのは総合訓練での達成感を味わってもらいたい一心だからです。お互いに真剣勝負であるからこそ良い教育が出来ていると思います。

総合訓練が終了し暖かくなり桜が咲くころになると新入隊員がたくさん入隊します。今年も、五十数年間普通寺駐屯地で教育をしていた第一〇教育大隊が二月九日に松山駐屯地に移動しました。新しい土地での教育となりますが、今まで通りに第一〇九大隊も含めて立派な新隊員教育をしていくものと信じています。教育の基本は「人づくり」だと思います。常に「感動・感激・感謝」出来る立派な隊員を育てるようになり、混成団最先任として努力してまいります。

中部方面混成団女性自衛官集合訓練



村瀬美雪氏（中央）と記念撮影

平成三十年二月一日および二日、混成団所属の女性自衛官および最先任上級曹長を一堂に集め、女性自衛官集合訓練を実施した。本訓練は「隊務全般における着意事項および問題点等について討議・意見交換を実施し、意識改革および職務指導の資とする」ともにネットワークの強化を図る」を目的とし、一日目は第四十九普通科連隊OGの村瀬美雪氏の「女性自衛官として得た教訓等」の講話を拝聴し、二日目は「男女共同参画施策」について周知を行った。また第四十七普通科連隊 船橋治江曹長の軽妙な司会進行のもと「規律」について、白熱した討議が行なわれた。平素、顔を合わす機会がない隊員同士の交流により、混成団の女性自衛官のネットワーク構築および強化が図られた。